

出会い系サイトに関する被害児童調査結果

1 調査概要

(1) 調査対象

平成19年7～9月に検挙したいわゆる出会い系サイト規制法に規定するインターネット異性紹介事業（以下「出会い系サイト」という。）に何らかの形で関係した事件で児童が被害に遭ったもの。

上記事件のうち被害児童から出会い系サイトの利用状況等を任意に聴取できたものを対象としているため、実際の被害児童数よりも少なくなっている。

(2) 事件数、対象人員

ア 事件数	241 事件
イ 被疑者数	234 人
ウ 被害児童数	206 人

事件内訳

内 容	被害児童数（事件数）	比率
児童買春・児童ポルノ規制法違反（児童買春）	115(140)	55.8%(58.1%)
児童買春・児童ポルノ規制法違反（児童ポルノ）	6 (9)	2.9% (3.7%)
児童福祉法違反（淫行させる行為）	7 (7)	3.4% (2.9%)
青少年保護育成条例違反	71 (78)	34.5%(32.4%)
強姦	4 (4)	1.9% (1.7%)
強制わいせつ	1 (1)	0.5% (0.4%)
職業安定法違反	2 (2)	1.0% (0.8%)
計	206(241)	100.0%(100%)

被害児童の年齢

年齢	11歳以下	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	計
人員	0 (0)	1 (0)	13 (0)	24 (0)	40 (0)	71 (0)	57 (0)	206 (0)
比率	0.0%	0.5%	6.3%	11.7%	19.4%	34.5%	27.7%	100%

() は、男子児童で内数

被害児童の学職別

種別	小学生	中学生	高校生	有職者	無職者	計
人員	0 (0)	52 (0)	108 (0)	10 (0)	36 (0)	206 (0)
比率	0.0%	25.2%	52.4%	4.9%	17.5%	100%

() は、男子児童で内数

家出中～23人

2 対象事件の分析

241事件について、被害児童の書き込み、利用したサイトの状況等の分析結果

(1) 被害児童の書き込み等の状況

		対象～241事件	
類型	件数	(%)	
被害児童が6条(不正誘引)違反の内容を書き込んだ	20	8.3%	
6条(不正誘引)違反の書き込みに対して被害児童がメールした	4	1.7%	
被害児童が6条(不正誘引)違反以外の内容を書き込んだ	176	73.0%	
児童を認識させる文言(性交等、対償なし)	25	(10.4%)	
性交等又は対償を伴う誘引	63	(26.1%)	
その他(児童、性交等、対償なし)	88	(36.5%)	
6条(不正誘引)違反以外の書き込みを見て被害児童がメールした	41	17.0%	
児童を認識させる文言(性交、対償なし)	1	(0.4%)	
性交等又は対償を伴う誘引	14	(5.8%)	
その他(児童、性交等、対償なし)	26	(10.8%)	

(2) 18禁表示状況 (警察で確認した結果)

対象～241サイト

内容	件数
表示している	204
表示していない	4
不明(確認できない)	33

3 被害児童の状況

被害児童206人について、これまでの出会い系サイトの利用状況等の集計結果

(1) これまでに利用したことのある出会い系サイトの数

内容	件数	比率
1サイト	112	54.4%
2サイト	43	20.9%
3サイト	14	6.8%
4サイト	4	1.9%
5～9サイト	13	6.3%
10～19サイト	2	1.0%
20サイト以上	0	-
無回答	18	8.7%
計	206	100.0%

(2) 出会い系サイトの利用頻度

出会い系サイトを利用する頻度を記入。

内容	回数	比率
ほぼ毎日	32	15.5%
週に半分以上	31	15.0%
週に数回	60	29.1%
週に1回位	9	4.4%
月に数回	35	17.0%
それ以下	26	12.6%
無回答	13	6.3%
計	206	100%

(3) 出会い系サイトを利用しての異性交際等回数

これまでに出会い系サイトを利用し、メールや電話によるやりとりをしたことのある人数、実際に会ったことのある人数について記入。

メールや電話によるやりとりしたことのある人数

内容	人数	比率
1人	28	13.6%
2人	21	10.2%
3人	16	7.8%
4～5人	39	18.9%
6～9人	11	5.3%
10人以上	76	36.9%
無回答	15	7.3%
計	206	100.0%

実際に会ったことがある人数

内容	人数	比率
1人	64	31.1%
2人	31	15.0%
3人	12	5.8%
4～5人	28	13.6%
6～9人	15	7.3%
10人以上	41	19.9%
無回答	15	7.3%
計	206	100.0%

(4) 出会い系サイトを知った契機

これまでに利用した出会い系サイトを知った契機について記入(複数回答)
また、「その他」については、その内容を簡記。

対象 ~ 206人

内容	件数	比率
友人等から	127	61.7%
雑誌	17	8.3%
広告宣伝メール	19	9.2%
路上配布物(ビラ等)	0	-
その他	11	5.3%
不明(覚えていない)	26	12.6%
無回答	15	7.3%

「その他」の内容

内容	件数
サイト検索	6
他のサイトのバナー広告	3
テレビの特集番組	1
売春組織から教わった	1

(5) 出会い系サイトの書き込みが削除された経験の有無

これまでに出会い系サイトに書き込んだ内容について、期限切れ等とは別の理由により、管理者側等により削除されたことがあるか否かを記入。

内容	件数	比率
削除されたことがある	12	5.8%
削除されたことはない	179	86.9%
無回答	15	7.3%
計	206	100.0%

(6) 出会い系サイトへのアクセス媒体

出会い系サイトへのアクセス時に使用する媒体について記入。

内容	件数	比率
携帯電話	193	93.7%
パソコン	4	1.9%
携帯電話とパソコン	9	4.4%
その他	0	-
計	206	100.0%

(7) 携帯電話の名義

(6)で 又は (携帯電話利用)の場合、出会い系サイト利用のために使用している携帯電話の名義について記入。

内容	件数	比率
自己名義	90	44.6%
家族名義	101	50.0%
知人名義	4	2.0%
出会い系サイト業者又は関連業者	0	-
その他	0	-
不明(知らない、覚えていない)	5	2.5%
無回答	2	1.0%
計	202	100.0%

(8) 携帯電話のフィルタリング機能等

(6)で 又は (携帯電話利用)の場合、フィルタリングについて知っているかなどについて、該当するものを記入。
フィルタリングについて知っているか。

内容	件数	比率
知っている	50	24.8%
知らない	152	75.2%
計	202	100.0%

で の場合、現在保有する携帯電話にフィルタリング機能は付いているか。

対象 ~ 50人

内容	件数	比率
保有するすべての携帯電話に付いている	11	22.0%
保有するすべての携帯電話に付いていない	36	72.0%
付いているものと付いていないものの両方を保有	1	2.0%
無回答	2	4.0%

(9) 児童による出会い系サイト利用をなくす方法

(一般的に)どのようにすれば児童が出会い系サイトを利用しなくなる(利用する児童が減る)と思うかについて記入(複数回答)。

また、「その他」については、その内容を簡記

対象 ~ 206人

内容	件数	比率
年齢確認を厳しくすればよい	68	33.0%
広告宣伝メールをなくす	21	10.2%
出会い系サイトの利用を有料にする	53	25.7%
その他	11	5.3%
どのようにしても児童の利用はなくなる(減らない)	78	37.9%

「 その他 」 の場合の内容

内容	件数
出会い系サイトをなくす	2
携帯電話をなくす	1
自分自身がやらないと決める	1
児童を厳しく罰する	1
わからない	3
聴取できなかった	3

(10) 出会い系サイト以外のインターネット上のサイトの利用

これまでに異性交際目的（対償や性交等を伴うものか否かを問わない。）で出会い系サイト以外のインターネット上のサイトを利用した経験を記入（複数回答）。

対象～206人

内容	件数	比率
利用したことはない	171	83.0%
サイト上の（他人の）書き込みを閲覧したことはある（その後のメール送信等はしたことがない）	8	3.9%
サイト上の（他人の）書き込みを閲覧し、メール送信等をしたことがある	8	3.9%
サイト上に書き込みをしたことがある	7	3.4%
サイトを利用して知り合った異性に実際にあったことがある	17	8.3%

(11) 被害児童のこれまでの被害経験

本事件の前に、児童が出会い系サイトその他インターネット上のサイトに関する事件の被害者として警察から事情聴取を受けたことがあったかについて記入（複数回答）。

対象～206人

内 容	件数	比率
かつて出会い系サイトに関する事件で被害に遭ったことがある	43	20.9%
かつて出会い系サイト以外のインターネット上のサイトに関する事件の被害に遭ったことがある	1	0.5%
これまでそのような被害に遭ったことはない（今回が初めて）	163	79.1%